

[成果情報名] 二条大麦(ビール大麦)「しゅんれい」の奨励品種採用

[要約] 短稈で耐倒伏性に優れ、多収で被害粒の少ない二条大麦(ビール大麦)「しゅんれい」を奨励品種に採用する。

[キーワード] 二条大麦、ビール大麦、しゅんれい、短稈、倒伏、被害粒、奨励品種

[研究所名] 鳥取農総研・農試・作物研究室

[代表連絡先] 電話 0857-53-0721

[区分] 近畿中国四国農業・作物生産

[分類] 技術・普及

[背景・ねらい]

現在、鳥取県のビール大麦は「アサカゴールド」が契約栽培されているが、「アサカゴールド」は凸腹粒等の被害粒が発生しやすく品質面で不安定な状況となっている。一方、実需者からは「アサカゴールド」に替わる醸造適性に優れた品種が求められている。そこで、本県においてビール大麦として多収で被害粒の少ない「しゅんれい」について栽培特性及び適応性を検討する。

[成果の内容・特徴]

「しゅんれい」は 2004 年に福岡県が育成した品種である。

「アサカゴールド」と比較して次のような特徴がある。

1. 出穂期は同程度、成熟期は 1 日程度遅い(表 1、表 2)。
2. 稈長、穂長はそれぞれ 9 cm、1 cm 程度短く、耐倒伏性は同程度に強い(表 1、表 2)。
3. 穂数は同程度～多く、千粒重が大きいため多収である(表 1、表 2)。
4. 凸腹粒の発生が少なく、外観品質は同程度である(表 1)。

[成果の活用面・留意点]

1. 2011 年 4 月 18 日に「しゅんれい」は鳥取県の奨励品種に採用されている。
2. 県内平坦地に適する。
3. 肥培管理は慣行の 10 - 3 - 2 Nkg/10a (基肥 - 穂肥 I - 穂肥 II、穂肥 I は幼穂 2 ~ 4 mm の時期、穂肥 II はその 10 ~ 14 日後) とする。
4. 茎立ち後から出穂前にかけて、止葉を含む上位 2 葉に黄化症状が現れることがあるが(図 1)、品種特有のものであり、収量品質には影響がない。
5. 育成地の報告によると、「しゅんれい」の大麦縮萎病抵抗性は「アサカゴールド」と同じく極強であり、うどんこ病抵抗性は「アサカゴールド」がやや弱であるのに対し「しゅんれい」は極強である。
6. 育成地の報告によると、「しゅんれい」は「アサカゴールド」と比べて麦芽エキス、ジアスターゼ力が高く、麦芽品質が極めて高い。

[具体的データ]

表1. 「しゅんれい」の特性概要

品種名	出穂期 月日	成熟期 月日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	倒伏 0-5	病 害				収量 kg/a	同左比率 %	容積重 g/l	千粒重 g	原麦粗蛋白 含量 %	凸腹率 %	外観品質 1-6	検査等級
							縞萎縮病	網斑病	うどんこ病	赤かび病								
しゅんれい	4.7	5.24	75	5.0	867	0.6	0	0	0	0	35.2	108	681	45.4	9.1	0.2	3.4	2等～等外上
アサカゴールド	4.7	5.23	84	6.0	745	0.9	0	0	0	0	32.7	100	703	44.6	9.2	0.9	3.2	2等～等外上

注) 調査年次: 2006年～2010年、調査場所: 農業試験場。
 施肥量: 10-3-2(基肥-穂肥 I -穂肥 II、Nkg/10a)、施肥時期: 穂肥 I -幼穂長3mm、穂肥 II - I の2週間後。
 倒伏・病害の程度: 0-無、1-微、2-少、3-中、4-多、5-甚。表2も同様。
 外観品質: 1-上上、2-上下、3-中上、4-中中、5-中下、6-下。
 収量・容積重・千粒重は粒厚2.5mm以上、収量・千粒重は水分12.5%換算。表2も同様。

表2. 奨励品種決定調査現地調査の結果 (2008、2009年播)

品種名	播種年度	苗立の良否	播種日 月.日	出穂期 月.日	成熟期 月.日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	倒伏 0-5	病 害				収量 kg/a	千粒重 g	検査等級
										縞萎縮病	網斑病	うどんこ病	赤かび病			
しゅんれい	2008	良	11.13	4.1	5.19	85	5.4	826	1.5	0	2.0	0	0	49.3	45.9	等外上
	2009	中	11.9	4.14	—	78	5.5	421	0	0	1.0	0	0	36.2	46.6	2等
	平均	良～中	11.11	4.12	—	82	5.5	624	0.8	0	1.5	0	0	42.8	46.3	2等～等外上
アサカゴールド	2008	良	11.13	4.1	5.18	95	6.0	811	2.0	0	2.0	0	0	59.6	43.0	2等
	2009	中	11.9	4.13	5.29	87	6.5	446	0	0	1.0	0	0	36.8	43.6	等外上
	平均	良～中	11.11	4.11	5.23	91	6.3	628	1.0	0	1.5	0	0	48.2	43.3	2等～等外上

注) 調査場所: 倉吉市古川沢
 苗立の良否の目安は、良: 苗立率80%以上、中: 同60～70%、否: 同60%以下。
 施肥量: 11-3-2(基肥-穂肥 I -穂肥 II、Nkg/10a)、施肥時期: 穂肥 I -2月上旬、穂肥 II -2月中旬。
 2009年播種「しゅんれい」は、奨励ほ場が成熟前に刈取りのため、成熟期の判定不可。



図1 「しゅんれい」上位葉の黄化症状

注) 撮影場所: 農業試験場。
 撮影日: 2010年4月7日

(坂本勝豊)

[その他]

研究課題名: 麦類奨励品種決定調査
 予算区分: 県単
 研究期間: 2005～2010年度
 研究担当者: 坂本勝豊、福見尚哉